

なごみま専科

平成 29 年 No.83

趣味の呉服ゆうき

〒668-0873

豊岡市庄境 211-1

TEL0796-22-5646

FAX0796-23-6239

フリー 0120-930-670

大盛況「呉服の日」

毎年恒例「呉服の日」。今年は五月二十七日～二十九日の三日間開催しました。たくさんのお客様にご来場いただき、誠にありがとうございました。お陰様で大盛況のうちを終了いたしました。さすがに三日連続の催しは疲れもありましたが、呉服の日だけ？は、多くのお客様と接することができ、清々しい気持ちで終えることができました。今年も特に、初めてのお客様も多数お越しいただき、ゆうきというお店を知っていただけただけでも嬉しく思います。元々この「呉服の日」は敷居の高い「呉服屋」に、どうやったら気軽に遊びに来ていただけるだろうか、ということから始めた企画でした。そういう意味では、今まで呉服屋に縁のなかった

方や、普段お着物をお召しにならない方でも気軽に遊びに来ていただけることがありがたいことなのです。また、先代の時からご愛顧いただいておりますが、少し縁遠くなっていたお客様も久しぶりにご来店いただけると、充実した三日間でした。反面、お客様には十分なおもてなしがでなかつた面もあり申し訳なく思っております。今後もお気軽に立ち寄りくだされば幸いです。



5月28日ピーズ細工体験
細かな作業に悪戦苦闘(^_^)

蝸牛(かたつむり)

玄関の壁を蝸牛が這っていきました。梅雨の時期になると垣根にはたくさんさんの蝸牛がいましたが見かけることも少なくなりました。かたつむりのかたは「渦」、「つまり陸のことですつむりは「つぶり」が変化したもの。「巻き貝」のことです。何かと気忙しい、時間に追われる毎日。その割にはふと「何やってたんだろう」と思うことも。かたつむりのようにゆっくりのんびりした歩みもたまにはいいのでは？

三代目奮闘記



出石高校の茶道部から浴衣の着付けを教えて欲しいと依頼を受けた三代目。木綿着物の着姿が顧問の先生の目にとまり、オフアールがあったのです。呉服屋だから綺麗に着物が着られて当たり前。自ら着付け教室に通い勉強中の三代目ですが、着付けの先生に感謝の三代目なのでした。

女将のつぶやき

夏は汗をかきやすいため、自分で洗える着物が重宝されます。浴衣などの綿素材はもちろん自宅で洗濯できますが、盛夏にはもっと快適な麻がおすすめ。小千谷縮(おぢやちぢみ)は麻の着物。一度体験すると他の着物が着られないという声を聞くほど、盛夏にはピッタリのお着物です。



着用期間の短い単衣。
木綿の着物も気軽に着用
できますが、やはり絹の単
衣は最高にお洒落です。

きもの歳時記

単衣の季節

近年五月になると急に気温が上がることも多く、また九月になっても残暑が厳しくなっています。六月が衣替えとはいえず、気温が上昇する五月中旬頃から単衣をお召しいただき、快適な着物ライフをお楽しみください。